

THE MEIJI YASUDA CULTURAL FOUNDATION

# 地域の伝統文化

公益財団法人 明治安田クオリティオブライフ文化財団

地域の伝統文化 第26号  
平成30年11月3日発行発行：明治安田クオリティオブライフ文化財団  
編集：専務理事 醤油 和男  
住所：〒160-0023 東京都新宿区西新宿1-9-1TEL: 03-3349-6194  
FAX: 03-3345-6388<https://www.meijiyasuda-qol-bunka.or.jp>岩手県大槌町「大槌城山虎舞」(平成30年度助成先)の『矢車』  
於：小槌神社例祭宵宮 平成30年9月22日平成三十一年度  
「地域の伝統文化の継承・発展活動」

に対する費用助成希望受付開始

公益財団法人明治安田クオリティオブライフ文化財団では、平成三年六月に財團を設立以来、地域に伝承されてきた「地域の伝統文化の継承・発展活動」とくに後継者の育成に必要な諸活動に対する助成を行なっています。平成三十一年度で二十九回目をむかえます。

これまでに行なった助成は、累計一八〇件となり、その地域も全国の都道府県に及んでいます。

平成三十一年度も以下の内容により公募を行ないます。  
これまでに行なった助成は、各都道府県の教育委員会または知事部局の文化関係所管課に送付してあります。「平成三十一年度助成申込要領」をご覧いただき、お申し込みください。  
なお、申込要領の詳細は、財団のホームページにも掲載しています。

## 『申込要領の概要』

### 〔助成対象〕

「地域の民俗芸能」「地域の民俗技術」の継承、とくに後継者育成のための諸活動に努力をしている個人または団体。

### 〔助成の条件〕

平成三十一年度（二〇二〇年三月まで）に後継者育成を目的とする諸費用（道具整備費、製作材料費、育成研修費、記録保存費用など）の支出を予定していること。その支出を賄うために、外部からの資金協力が緊急不可欠であること。

「参考資料」等  
提出書類に基づき当財團の選考委員会で厳正に審査し、理事会に答申して決定します。

### 〔手続日程〕

- |                           |                          |
|---------------------------|--------------------------|
| 一、申込期限<br>平成三十一年一月三十一日（木） | 二、結果発表<br>平成三十一年三月下旬（予定） |
|---------------------------|--------------------------|

### 〔選考方法手続〕

提出書類に基づき当財團の選考委員会で厳正に審査し、理事会に答申して決定します。

### 〔助成金額〕

- |                              |                              |
|------------------------------|------------------------------|
| 一、民俗芸能への助成は、<br>一件につき七〇万円が限度 | 二、民俗技術への助成は、<br>一件につき四〇万円が限度 |
|------------------------------|------------------------------|

### 〔伝統文化分野選考委員〕

委員長 小島美子  
(国立歴史民俗博物館名誉教授)

委員 田中宣一  
(成城大学名誉教授)

委員 天野武  
(儀礼文化学会名誉会員)

委員 田村善次郎  
(武藏野美術大学名誉教授)

委員 西角井正大  
(国立劇場おきなわ運営財團理事)

委員 星野紘  
(東京文化財研究所名誉研究員)  
委員 渡辺行信  
(当財團評議員)

- 〔申込手続〕
- 一、提出書類
- 〔申込書〕（所定用紙）
- 〔推薦書〕（所定用紙）
- 〔活動状況がわかる写真〕
- 〔直近の収支決算書（写真）〕

（敬称略）

## II 特別寄稿 II

## 「盆踊りの面白さ」

(東京文化財研究所名誉研究員)  
星野 紘

(当財団伝統文化分野選考委員)

## 星野博先生略歴



新潟県出身。  
京都大学文学部哲学科美学美術史専攻卒業。文化庁主任文化財調査官、独立行政法人国立文化財機構東京文化財研究所芸能部長、成城大学大学院文学研究科日本常民文化専攻非常勤講師、神奈川大学大学院非常勤講師、神奈川大学特任教授、独立行政法人国立文化財機構東京文化財研究所名誉研究員。主な単著に、「芸能の古層ユーラシア」「村の伝統芸能が危ない」「過疎地の伝統芸能の再生を願つて」「暴れ牛と神さびる熊」共著に、「シベリア・ハンティ族の芸能」「民俗芸能探訪ガイドブック」ほか。

盆の時期となると電車の高架上の車両から沿線沿いの広場に赤提灯をめぐらした一隅が目にに入るが、全国各地で盆踊りが繰り広げられる。誰でもが気軽にこの踊りの輪に加わるものだから、神楽とか万歳に比べてさほど難しい技芸も要求されない。概して平易な地域（郷土）の伝統芸能などと見なされている。市町村史誌の類いには、盆踊りは民謡と同様のあつかいがなされ、歌詞を記しておられることが多いといふ例が多い。このことは郷土色濃厚というか、方言とともにあえて目くじらをたてるに似ている場合もある。西馬音内盆踊り（秋田県羽後町）の踊り歌の秋田音頭の地口（じぐち）などは、秋田弁混じりの独特の言い回しで滑稽味を醸し出している。また旧南部藩領のナニヤドヤラは典型案例として、現在、独立行政法人国立

## 一、盆踊りの面白さ

盆の時期となると電車の高

れである。ともあれ、その面白さの一端を歌と踊りの両面から述べてみたい。

周知のように青森県東部、岩手県北部の各地には「ナニヤドヤラ」云う云うと呪文のような文句を繰り返すのが目に入るが、全国の各地で盆踊りが広く分布している。これについて民俗学の泰斗、柳田國男が次のように記していたことは、つとに知られている。

## 二、歌の掛け合い

岩手県北部の各地には「ナニヤドヤラ」云う云うと呪文のやうにして、次のように合わせて踊られる盆の踊りが広く分布している。これについて民俗学の泰斗、柳田國男が次のように記していたことは、つとに知られている。

も、当該ナニヤドヤラを万葉集や風土記の昔に遡らせる何かないし、次のように「盆踊り」の定義からも外されている。

盆に招かれてくる精霊を慰め、またこれを送る踊と考えられているが、もと念佛踊に出た、：（中略）：古代歌垣の遺風となす解釈が行われているが誤りである。（日本民俗學辞典）東京堂出版 1970

：（途中略）…是ばかりの短い詩形に、さうむつかしい情緒が盛られようわけが無い。要するに何なりともせよかし、どうなりとなさるがよいと、男に向かつて呼びかけたといふ戀の歌である〔清光館哀史〕。

この文句に、柳田は古代の筑波山で行われたという歌垣に登場する男女の恋の歌を連想する。また日本列島の北端から離れた奄美諸島には、掛け合い形式の歌い方が豊か（複雑）に行われている。また日本列島の北端から離れた奄美諸島には、掛け合い形式の歌の応酬とともに異常な種の作業に依拠したものであつた。したがつて同人はヨーロッパ方面の民謡分類としての労働をはじめとした各種の作業に依拠したものであつた。したがつて同人はヨーロッパ方面の民謡分類にはあるラブソング（情歌）の項目を排除していく（今日の夏目踊り）がある。酒井正子が調査紹介しているもので、奄美歌掛けの「デイアローグ」第一書房 1996、男女1

間のセクシャルな文句が飛びかつつたりもする。これは浜折りの時に集落一同の者が海の彼方から祖靈（神靈）迎えて、輪になつて踊る。それが果てずつ訪問しても踊る。浜辺太鼓を打つ者（男）を中心として寄り集つた男女が何重もの輪をなして、招き手、手合をしつつ、男の輪と女の輪とが二手の者に掛け合わせながら踊られており、ましてや後代に展開したとみなされる「ナニヤドヤラ」以外の有意味の歌詞が付けられるようになつてからの踊りにおいては、様々な掛け合い形式の歌い方

ところで柳田國男は我が國も類する男女の恋の歌を連想する。また東北北部の寂しい寒村住民の生活端の寂しい寒村住民の生活苦、海難事故などから来るやるせなさからの諦らめ、投げやりの情を喰いとつていて。ところが、上記に紹介した歌説は今日ところが、上記に紹介した歌説は今

も、実は各種の作業の歌の項目の中のどこかに含められていたと考えられる。ちなみに同人の一文「鼻唄考」の中で下記の白挽き歌を引用している。これは「庭歌」（屋敷内）の一つで、作業場での仕事唄の一つであるが、そこで歌われていた歌詞を見ると、白挽きの仕事唄の応酬もこめられたものとなつていて。

白のかるさよ相手のよさよ  
あひてかはるなあすの夜も  
臼をひきやこそ御手にもさ  
あひにや見もせず見たばか  
り

白のかるさよ相手のよさよ  
あひてかはるなあすの夜も  
臼をひきやこそ御手にもさ  
あひにや見もせず見たばか  
り

そして次のような結論的な言  
い方を柳田はしていた。

戀歌をその昔の仕事唄の外  
に、置かうとしたのが誤り  
だといふことであった。

つまり、先刻『日本民俗學辭  
典』の盆踊りの定義において、  
盆踊りを歌垣の遺風と見なす  
ことは間違いだと断定的に記  
されていたことは、実はそう  
いった要素も含まれているの  
だがくらいに留めておくべき  
ことだつたように思われる。

**三、巧く工夫されている盆踊  
りの身振り**

盆踊りの踊り振りに言及し  
てある論考は従来数少ないの  
だが、小寺融吉は詳細にその  
点を書き記していた。盆踊り

は、一見単純な振りながらも  
地域住民が盆の夜々を踊り抜  
くのにふさわしい手振りとし  
て巧みに工夫されており、か  
くのにふさわしい手振りとし  
て来た地域の伝統は、などれ  
あるが、そこで歌われていた  
歌詞を見ると、白挽きの仕事唄  
をしながら、男女の性的感情の  
応酬もこめられたものとなつて  
いる。

1974年に記していた。この  
学的研究（国書刊行会）に記して  
いる。この一文には、踊り振りが実に  
微細に書き込まれている。四分  
の四拍子九小節の中に六動作  
が繰り返されていることを、足の動き、手の動きそれ  
ぞれについて記述し、またそれ  
が踊り歌の歌詞とどういう  
対応関係になつているかを明  
記し、さらに歌詞の下の句と  
上の句を通じてどのようにそ  
れが繰り返されているのかを  
述べていた。しかも、全体で  
同じ六動作が三度繰り返され  
るわけだが、それが三度とも  
異なる旋律の歌詞の箇所で行  
われており、歌い手、踊り手  
とともに動作の同一から来る單  
調な倦怠を覚えづにすむと記  
されていて、そのように巧く  
工夫されている点を小寺は称  
讚していた。

さらにまた小寺は『盆踊  
りの研究』（『民俗舞踊研究』国  
書刊行会1975）において、  
次のように記していた。

また昔の盆踊りの振りは  
非常にやさしく、誰もが一  
寸見て直ぐ覚え、輪に入つ  
て一緒に踊つたといふ人も  
多い。論考は従来数少ないの  
だが、小寺融吉は詳細にその  
点を書き記していた。盆踊り

があるが、これは間違である。  
一寸見て直ぐ覚えるのは、生まれ  
たやうなものではない。また昔の盆踊りは動作  
の数が少ないので、大分と伝ふが：（中略）：大分  
県のヤンソレサ動作の数はあげ  
て一巡りするだけだが、それが非常にむづかしい。  
踊り方の詳細を、「舞踊の美  
學的研究」（国書刊行会1974）に記して  
いた。この一文には、踊り振りが実際に  
書き込まれている。四分の四拍子九小節の中に六動作  
が繰り返されていることを、足の動き、手の動きそれ  
ぞれについて記述し、またそれ  
が踊り歌の歌詞とどういう  
対応関係になつているかを明  
記し、さらに歌詞の下の句と  
上の句を通じてどのようにそ  
れが繰り返されているのかを  
述べていた。しかも、全体で  
同じ六動作が三度繰り返され  
るわけだが、それが三度とも  
異なる旋律の歌詞の箇所で行  
われており、歌い手、踊り手  
とともに動作の同一から来る單  
調な倦怠を覚えづにすむと記  
されていて、そのように巧く  
工夫されている点を小寺は称  
讚していた。

小寺融吉の記述によつて、  
生はじめて知ったのだが、盆踊りの踊り場所は、単に広  
場や路上といつた野外ばかりでなく、屋内、板間の床下を下  
り、長として下駄履きのまま拝殿へ登つた踊り手たちが自らの  
履物でゾロゾロ、ガタガタと、いつた音をたてて踊る、そこ  
がミソなのだ。所作台や能舞台を白足袋履きで所作する  
洗練された中央の古典のものとの時間が半も要するゆつくりし  
時間が半も要するゆつくりしたものである。足の踏み方  
ものまである。それが、直ぐ二度踏むも一歩もあ  
り、佐賀県の「浦の口説」で  
さらに青森県の「ナニモサ踊  
り」でも下駄を何度もすり減  
らしたと自慢している報告が  
あり、東北でも九州でも同種  
のものが広がつていていたようだ。

奥美濃の拝殿踊（旧莊川村）



奥美濃の拝殿踊（旧莊川村）

ネルギッシュな感興が都会人や若者等にも受けしており、今は、地元の踊り手よりも外  
来の踊りファンが輪全体の三分の二ほどを占めている。

踊り、奈良県の「十津川の踊」などもそうなのだが、そ  
くのにふさわしい手振りとし  
て地域住民が盆の夜々を踊り抜  
くのにふさわしい手振りとし  
て来た地域の伝統は、などれ  
あるが、そこで歌われていた  
歌詞を見ると、白挽きの仕事唄  
をしながら、男女の性的感情の  
応酬もこめられたものとなつて  
いる。

このこと同様に新潟県の上越  
國境方面の「おけさ」の踊り  
が、どちら板の間で踊り、板の響  
き、かつては各所に木の橋があ  
り、多くの懸かつてはいた新潟市内で  
はその上で踊つていていたとい  
う伝承もあり、越後方面にもこ  
の種の伝承が波及していた。  
さらには、佐賀県の「浦の口説」で  
以前は下駄が割れるほど踊  
らねばならなかつたと伝えて  
いる。東北でも九州でも同種  
の屋内の盆踊りは、現在も存在して  
いる。名前では岡山県の「大宮有」  
の盆踊りの振りは、非常にやさしく、誰もが一  
寸見て直ぐ覚え、輪に入つて一緒に踊つたといふ人も  
多い。論考は従来数少ないの  
だが、小寺融吉は詳細にその  
点を書き記していた。盆踊り

II 現地取材レポート II

東京都青梅市

「青梅市虎柏神社祭礼行事保存会」様を訪ねて

青梅市根ヶ布地区を訪ねて

今回は、東京都の青梅市根ヶ布地区にある「青梅市虎柏神社祭礼行事保存会」様をお訪ねしました。東京都虎柏神社は、平安時代中に鎮座する虎柏神社は、平安時代中に鎮座する虎柏神社は、平安時代中に鎮

期に編纂された『延喜式』と記されています。永正年間（一五〇四年）に勝沼城主三田氏によって再興され、現本殿は享保一九年（一七三四）に再建されました。東京都でも数少ない三間社の遺構の一つで、式の神社建築の貴重な様式を見ていいのです。



[虎柏神社]

そこで、「青梅市虎柏神社祭礼行事保存会」様は、平成五年十一月に設立され、延喜式内社年保有と呼ばれる千年以上の歴史がある「虎柏神社」の祭礼行事を、地域住民をはじめ、多くの氏子の身的な奉仕により受け継いでいます。平成五年三月に

指定され、今年度当財団から資金として五五万円の助成を受けました。礼を行うための備品等の購入代金として五五万円の助成を受けました。



[新調された装束と鈴]

儀物としての神宝類を氏子の表が持ち、社殿の周囲を三周して本殿内に収める神事で、三社因む神歌を奉唱するなど、古式に則った形で執り行われます。

「お殿入り祭」の開始時刻は、古くは午前二時でしたが、のちに午前〇時となり、さらに戦後になつて、現在の午後九時に改められた経緯があります。

午後九時になると、装束を着けた宮司以下四名の神職・伶人・参列者は社務所を出て、社殿脇に手を清め、列を作つて社殿前に朝日の仮屋の前に行きます。この時点での電灯は消され、一面真っ暗になります。

式に則った形で執り行われます。神職は幣殿に、伶人と奉仕人は神歌の文句を変えるのが特徴とされています。

神職は幣殿に、伶人と奉仕人は神職から各奉仕者が奉持してきなり、その後に玉串の奉奠が行なわれます。そして予め用意してきた洗米を本殿の御簾に向かって撒きかけ、警蹕を三回行います。

点灯されると間もなく献饌を受け取り、所定の位置に納めます。そして神前に供えられます。そこで予め用意してきた洗米を本殿の御簾に向かって撒きかけ、警蹕を三回行います。

神職は幣殿に、伶人と奉仕人は神職から各奉仕者が奉持してきなり、その後に玉串の奉奠が行なわれます。そして神前に供えられます。そこで予め用意してきた洗米を本殿の御簾に向かって撒きかけ、警蹕を三回行います。

神職は幣殿に、伶人と奉仕人は神職から各奉仕者が奉持してきなり、その後に玉串の奉奠が行なわれます。そして神前に供えられます。そこで予め用意してきた洗米を本殿の御簾に向かって撒きかけ、警蹕を三回行います。



[お殿入り祭]

青梅市虎柏神社の祭礼は、毎年、曜日に関係なく、八月二十六日の「お殿入り祭」、二十七日の「椀飯の式」「高峯神社祭」、二十八日の「お炊き上げ」「例大祭」「奉納相撲」の三日間で構成されます。この度、保存会の皆さまのご厚意により、一連の祭礼行事の取材が可能となりました。

取材時には、当保存会会長の山田益弘様はじめ、総代長の数野勝美様、自治会長の石井稔様など多くの皆さまのお世話をになりました。ありがとうございました。以降、一連の祭礼行事の中から、主な祭事を順次紹介いたします。

「お殿入り祭」は、八月二十六日の深夜に燈火をすべて消した中で行われるもので、社殿の仮屋に側に設けられた茅造りの仮屋に奉安の神体を意味する幣束と威

△一周目に唄われる神歌

△二周目に唄われる神歌

お殿入り祭(無形民俗文化財)

\*元々「お殿入り祭」は世襲神主である宮崎家が独自に行つていました。そのため氏子は積極的に神職は同時に拝礼。その後氏子総代から順に元代表者による玉串奉奠となります。

「お殿入り祭」は終了します。



[椀飯の式]



[天寧寺]

高峯神社祭(無形民俗文化財)

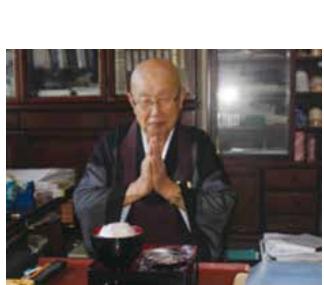
△一周目に唄われる神歌

△二周目に唄われる神歌

椀飯の式(無形民俗文化財)

△一周目に唄われる神歌

△二周目に唄われる神歌



[椀飯の式]

△一周目に唄われる神歌

△二周目に唄われる神歌

△三周目に唄われる神歌

△中なる道は神の通い路

△二周目に唄われる神歌

△中なる道は神の通い路

△二周目に唄われる神歌

△中なる道は神の通い路



稿

## 金鑽神楽岡部組の現状と今後に向けて

埼玉県深谷市岡部地区  
金鑽神楽岡部組保存会  
事務局 小林 賢一郎

(平成三十年度助成先)

### ◇発祥と歴史

「金鑽神楽岡部組」は江戸末期に発祥し、深谷市新会村の神楽師から鼠八幡神社神樂（深谷市上野台）の系統として伝授を受けたと言われている。免許状をもつた神楽師と地元農家の長男が中心となり二〇名程度で組織ことは大変名誉なことだったと言われている。

金鑽神楽と呼ばれる神楽組は、明治十五年、埼玉県の北西部（児玉郡と大里郡）にかけて一三組に再編され、昭和五十年代まで続いていたが、現在、活動が続いている組はその半分にも満たない状況である。我々神楽組は昭和五十四年、深谷市（旧岡部町）の無形民俗文化財に指定され現在に至っている。

### ◇現在の活動と演目

神楽奉納は、地元深谷市岡新田の氏神様である熊野神社において二月の初午祭、十一月の例祭の年二回、その他、二月開催の天手長男神社、四月の産泰神社、十月の針ヶ谷八幡神社、同じ十月の隣町本庄市宮戸八幡

大神社にてそれぞれ年一回奉納している。かつて神楽の演目は、一曲一座で二五座あつたと言われているが、現在、常に奉納する演目は六つほどである。その構成は、まず神主が祝詞をあげる「神樂ばらい」、翁の一人舞である「御禊」、「狐が登場する『種蒔』」「天狗の舞」、「鯛釣り」、そして悪魔祓いである「住吉の舞」で終演となる。現在では奉納していい演目が多数あり、少しづつ復活させたいと考えている。



[鯛釣り]

### ◇組の現状

私は（現在四四歳）は三年前前に先輩を誘って神楽組に加入し、その後一名増え我々神楽組は現在七名で活動している。私が加入する以前は、熟練者が高齢により他界したことにより、人員わずか四名（全員六〇代後半から七〇代）の

### ◇私と神楽

私と神楽の出会いは、地元の熊野神社に親に連れられていつた保育園当時である。演目の内容は理解できるはずもないが、色々なお面が登場するのでワクワクし、最後に三角のお餅をふらす時には誰よりも真剣にお餅をとりにいったものである。踊りの最中、舞台の上にいる踊り手が、観客の自分に軽くちょつ

存続の危機を乗り越えたといいうべきがある。現在も笛担当は一名だけなので、當時二人体制にし、踊り手も増員することにより組全体で一〇人以上の体制にしていきたいと考えている。

### ◇次世代への承継

もちろん、私が神楽組に加入了きっかけは、小さいころから神楽に興味があつたことが一番の理由である。今後、後継者を確保し神楽組を存続させていくためには、まず子供たちに神楽の存在を知つてもらうこと、そして神楽にふれあう機会を増やし興味を持つてもらうことが重要であると考える。

現在、神楽奉納時の見物客は年配の方が中心で、子供は數名見かける程度にすぎない。神社のお祭りそのものの集客を増やすことで、我々神楽組も神社での神楽奉納だけでなく、積極的に町のお祭り等に参加し、たくさんの人々に神楽をお披露目していくしかねばならないと考える。現在も、天長男神社での神楽奉納時に手長男神社での神楽奉納時



[昭和56年当時の神楽 中央右の子が筆者]

### ◇最後に

伝統芸能は消滅させてはならない。我々世代の最大の使命は、地元の先輩方が築いてきた地元のお祭り・芸能を学び、継続していくこと、そして盛り上げていくことであると考へる。かつて、私が地元夏祭りの実行委員会に参加し、たくさんの人に神楽をお披露目していくなかればならないと考える。現在も、我々神楽組は予算もほとんどなく、昭和初期から使っているお面・衣装を現在も手直しながら使用している。今回助成金をいただき、お面を六枚全面修理し、髪の毛・天狗の帽子・烏帽子など周辺道具も新調させていただいた。我々にとつてはかつてない大改修であり、今後の活動に責任と誇りをもつて金鑽神楽を次世代へ伝えていかなければならぬという気の引き締まる思いである。



[小学生の社会科見学]

に重要なのは鳴り物の笛を演奏できる人を育てることが急務であり、曲を五線譜に落とし込む作業も必要であると考える。

稿

## 長洲町清源寺神樂の 伝統と継承について

熊本県玉名郡長洲町  
清源寺神樂保存会

会長 田上 正二

(平成三十年度助成先)

### ◇長洲町について

長洲町は、熊本県の北西部に位置し、西南部は有明海に面しております。遠くに雲仙を望みます。主な産業は、造船業・アルミサッシ業等で、特産品としては有明海海苔・金魚の養殖、ビニールハウスによるミニトマトの栽培等が盛んな地域です。交通は、JR九州鹿児島本線が北西から南東に町を走り、また、海上は長洲港と長崎県の多比良港とを結ぶ有明フェリーが運航しており、交通の便に恵まれています。有明海の恵みを受け温暖で暮らしやすい気候のもとで、豊かな自然と、工業地帯が共存する町として発展しています。



[各神社神事での神楽奉納]

神楽舞は、十座（組）で構成され、笛と太鼓に合わせて、演者が剣や鈴を持ち装束を付け、身振り手振りによる表現で、台詞のない無言劇としての特徴があります。時移り社会の変貌に伴い神楽の火も消えようとしたが、昭和四十八年に神楽保存会が結成され、今日まで主に三つの神社の神事及び大祭で奉納しています。

六、歌神樂（うたかぐら）四〇分  
七、弓矢（うわや）四〇分  
八、矢（や）一六分  
九、劍（けんきゅう）一六分  
十、地固（ぢがため）一四分  
舞人は、初剣と地固が一人、四剣が四人でその他は二人づつで舞います。



[初剣の舞]

### ◇保存会の運営

清源寺神樂は、昭和五十一年に長洲町の無形文化財に指定され、更に平成四年・五年には、熊本県より郷土芸能活動補助事業の指定も受け、現在に至っています。

- 天満宮…年七回
- ・初天神祭・種物祈願祭・土用ごもり・天満宮大祭（菅原神社）、加藤（清正）神社、稻荷神社と三つの神社があり、主に大祭時の神事の際に神樂を奉納しています。
- ・五穀豊穫感謝祭（新嘗祭）
- ・大晦日年越し夜神樂奉納（参拝者にせんざい振舞い）
- ・老人会拌賀式
- 加藤神社…年一回
- ・大祭神事（夜神樂含む）
- ・大祭神事

保存会は、会員一五名「男三人名・女二名」、準会員七名「高校生二名（女）、小学生五名（男三名・女二名）」、師匠三名「七〇（八〇歳代）」の構成となっています。会員の運営は、町と区の助成金及び会費で運営しています。

### ◇後継者の育成と今後の活動

後継者の育成としては、当保存会も、高齢・少子化の煽りを痛感していますが、小学校への出前授業や、天満宮での神事の見学等、神樂を理解してもらうとともに、保護者等への呼び掛けを行い、増員を図っています。また、一般の方は、現役で仕事をされており、あまり興味を示してもらえない、主に定年退職者を対象に勧誘し、現在は、会員も増加の傾向にあります。

今後の活動としては、現在、先代達から受け継いだ当神樂を、伝承するにあたり十組の神樂舞を、動画（DVD）の保存を進めしており、新規会員の教材に役立てています。また、衣装・道具についても、少しづつでも新調・修復に努めたいと思っています。

今回、財団から助成を受け道具・衣装が揃うことにより、大きな励みとなっています。これからも当神樂に誇りを持ち、伝承に努めていく所存です。

日の午後七時三〇分から九時〇〇分まで実施をしています。



[公民館での練習風景]



[腹赤小学校の体験学習風景]

### ◇清源寺神樂の由来と特徴

清源寺神樂は、明治二十九年、この地に、上沖洲（隣地区）の名石宮神社から神樂を習い受け継がれてきたものです。當時は、物もなく娯楽もない村で、神へ無病息災・家内安寧・五穀豊穫の願いを込めた精一杯の気持ちの表れとして、子供たちを中心とした神樂舞の十座は、次の順で全部では三時間半に及びます。

### ◇神楽舞の構成と流れ

- |          |            |
|----------|------------|
| 五、榦（さかき） | 一、初剣（しょけん） |
| 一六分      | 一四分        |
| 一六分      | 一四分        |
| 一六分      | 一四分        |

### ◇継承活動の内容

会員の練習は、以前は天満宮（菅原神社）拝殿で練習していましたが、会員の増加により、現在は地区公民館に於いて、日曜

午後七時三〇分まで実施をしています。朝太鼓の奉納も行っています。

腹赤小学校三年生を対象とした神楽体験学習町文化祭出演で、尾市市の野原八幡宮から大祭に伴い、神樂奉納の依頼を受け、毎年出向しています。その他にも、近隣地区的名石宮、荒尾市には毎月三回、天満宮において朝太鼓の奉納も行っています。

今年度は、財団から助成を受け道具・衣装が揃うことにより、大型の衣装が購入されました。これまで新調・修復に努めたいと思つています。

今回、財団から助成を受け道具・衣装が揃うことにより、大型の衣装が購入されました。これまで新調・修復に努めたいと思つています。

## 寄稿

## 鹿角紫根染・茜染の継承について

秋田県鹿角市  
鹿角紫根染・茜染研究会  
会長 関 幸子

(平成三十年度助成先)

## ◇鹿角紫根染・茜染の歴史的背景

古代鹿角紫根染・茜染は、遠く王朝の香気がしのばれるといふ崇高優美な草木染である。鹿角ではその昔、山野に自生のムラサキやアカネが豊富だったことから、奈良時代からその根を染料にして染める紫根染や茜染が伝わってきたと言われている。

江戸時代には、盛岡藩の手厚い保護をうけて産業として発展し、鹿角特産の紫根染・茜染は全国に名を知られ、製品は朝廷や将军家の献上品として江戸へ送られていた。江戸時代の書に「極上品なるは、南部領より出る野生紫根なり」とあり、領内物産記録にも「ムラサキの根は所々に産するも、紫根染は鹿角郡を上品とする」とある。盛岡から鹿角へ通ずる鹿角街道はむらさき街道と呼ばれ、京紫や江戸紫と並んで日本の三大紫にあげられた鹿角の紫根染であったが、明治維新後、藩の保護の消失と化学染料の普及により鹿角の紫根染・茜染は衰退する。大正初め

に復興を手がけた栗山文次郎が文一郎の染めが秋田県無形文化財に指定されたが、平成三年、文一郎亡き後は途絶えている。

## ◇鹿角紫根染・茜染の特徴

鹿角の紫根染・茜染は、「朝あした」は紫、夕べは茜」と言われ、紫色は朝の光の中で一段と冴えたり、茜色は夕方の光の中で燃えるようにその美しさを放つという草木染である。

栗山家の古代鹿角紫根染・茜染は、濃い紫と茜の鮮やかな色調の中に白い手絞りが染め残された模様が優雅さを醸し出す伝統の染め物で、大柄、小柄、立桿花輪絞りの四種類の絞り模様がある。

## ◇研究会のこれまでの活動

鹿角紫根染・茜染研究会会員は現在三五名。活動拠点の鹿角紫根染・茜染工房に集い、染色研究をしたり技術交流を図ったりしながら後継者育成に努め、古代鹿角紫根染・茜染の再現を目指し、郷土の伝統文化を伝え広げている。

月一回の「彩る街かづの染め体验」を通して鹿角の文化遺産の活動を紹介することも行っており、古代技法の復活に親しんでもらうことや、小・中・高等学校と連携し、次世代を担う子どもたちに郷土の素晴らしさを伝える活動も積極的に行っている。

栗山文次郎・文一郎の染め物の多くは秋田県立博物館所蔵となり、平成六年には染め物三八点、道具三七点が鹿角市に寄贈され、市の有形民俗文化財に指定されている。

栗山文次郎・文一郎の染め物は、鹿角市花輪の商店街のアーケードに七五枚のタペストリーをなびかせ「伝統の紫根染・茜染彩る街」のイベントをくり広げ、公共機関や商店街とのつながりを大切にして伝統文化の輪を紡いできた。



鹿角市有形民俗文化財指定の  
〔栗山家の染め物〕



[アーケードを彩ったタペストリー]

## ◇後継者の育成と将来の展望



古代鹿角紫根染・茜染が途絶えた大きな理由は、原料不足と後継者がいないことであつた。染め工程が難儀な古代技法は自然相手の手仕事であり、若手の後継者育成は困難を極める。鹿角市は人口減少や高齢者増加が極端に進み、若手の人口流出も多い。鹿角が誇る価値ある文化遺産の復活を目指すために、若手の会員が働く場を工夫することが望まれる。そのためにも古代技法に欠かすことのできないムラサキの栽培法を確立して生産性を高め、鹿角紫根染・茜染を鹿角の特産品になるようにしたい。

また、鹿角紫根染・茜染研究会のホームページとフェイスブックを立ち上げ、広く研究会の活動を紹介することも行っており、古代技法の復活に親しんでもらうことや、小・中・高等学校と連携し、次世代を担う子どもたちに郷土の素晴らしさを伝える活動も積極的に取り組むことができるように努めた。

江戸時代には、盛岡藩の手厚い保護をうけて産業として発展し、鹿角特産の紫根染・茜染は全国に名を知られ、製品は朝廷や将军家の献上品として江戸へ送られていた。江戸時代の書に「極

上品なるは、南部領より出る野生紫根なり」とあり、領内物産記録にも「ムラサキの根は所々に産するも、紫根染は鹿角郡を上品とする」とある。盛岡から鹿角へ通ずる鹿角街道はむらさき街道と呼ばれ、京紫や江戸紫と並んで日本の三大紫にあげられた鹿角の紫根染であったが、明治維新後、藩の保護の消失と化学染料の普及により鹿角の紫根染・茜染は衰退する。大正初め

は、鹿角市花輪の商店街のアーケードに七五枚のタペストリーをなびかせ「伝統の紫根染・茜染彩る街」のイベントをくり広げ、公共機関や商店街とのつながりを大切にして伝統文化の輪を紡いできた。

は、鹿角市花輪の商店街のアーケードに七五枚のタペストリーをなびかせ「伝統の紫根染・茜染彩る街」のイベントをくり広げ、公共機関や商店街とのつながりを大切にして伝統文化の輪を紡いできた。

また、鹿角紫根染・茜染研究会のホームページとフェイスブックを立ち上げ、広く研究会の活動を紹介することも行っており、古代技法の復活に親しんでもらうことや、小・中・高等学校と連携し、次世代を担う子どもたちに郷土の素晴らしさを伝える活動も積極的に取り組むことができるように努めた。

平成3年～29年 都道府県別伝統文化助成先一覧(1)

\*印は民俗技術

助成先		助成先		助成先	
		平成5年度助成(35)		平成3年度助成(29)	
徳島県	猿坂獅子組保存会	北海道	マイユーカラの森 *	北海道	石崎奴保存会
愛媛県	八幡丸運営委員会	青森県	新十津川町獅子神楽保存会	青森県	厚岸かぐら保存会
高知県	宮谷堂の口あけまつり保存会	岩手県	新山権現保存会		紙漉沢獅子踊保存会
福岡県	四三嶋獅子廻し実行委員会	宮城県	上郷伝統工芸研究会 *	岩手県	七戸町郷上芸能保存会
長崎県	館浦須古踊り保存会	秋田県	赤沢芸能保存会	宮城県	白浜剣舞保存会
熊本県	大島村盆踊振興会	山形県	宮崎獅子舞保存会	山形県	とよま囃子保存会
大分県	中江岩戸神楽保存会子供神楽部会	栃木県	中野七夕保存会	群馬県	今利一郎氏(深山和紙製造)*
宮崎県	重岡岩戸神楽保存会	群馬県	堀内伝承文化保存会	東京都	岩島麻保存会 *
	村所神楽保存会	埼玉県	山岡和三郎氏(日光下駄) *		説経節の会
鹿児島県	佐々木寛治郎氏(手漉き和紙)*	千葉県	大神楽獅子舞保存会	新潟県	秋川歌舞伎保存会
沖縄県	蓬原熊野神社神舞保存会	神奈川県	明覚郷流鏑馬保存会	福井県	神谷地域ビデオ収録委員会
	伊江民俗芸能保存会	石川県	野田津久舞保存会	長野県	越前万歳保存会
<b>平成7年度助成(43)</b>		福井県	大谷芸能保存会	岐阜県	木曾漆器保存調査会 *
北海道	月浦獅子舞保存会	石川県	能登の揚浜式製塩保存会 *	三重県	大井文楽保存会
青森県	釧路アイヌ民芸企業組合*	福井県	花山行事保存会	奈良県	東玉垣唐人踊り保存会
岩手県	沼崎念佛鷦舞保存会	岐阜県	岐阜県地歌舞伎保存振興協議会	和歌山县	石打太鼓踊保存会
秋田県	小梨芸能保存会	愛知県	甚目寺説教源氏節人形芝居「もくもく座」	島根県	大島水門祭保存会
	戸沢さらら保存振興会	三重県	東玉垣唐人踊り保存会	広島県	西本里美氏(西田葛の復興)*
山形県	鷹巣町綴子太鼓上町保存会	滋賀県	二木島祭保存会		島後久見神楽保持者会
	遊佐のアマハゲ保存会	兵庫県	吉身祭礼保存会	徳島県	比和町郷土芸能振興会
福島県	岐阜山八幡神社弓祭協賛会	和歌山县	福田お幡入れ法伝哉伝承保存会	福岡県	金城一国斎後継者池田昭人氏*
栃木県	葛尾三匹獅子保存会	島根県	土生八幡神社お頭保存会	長崎県	西原上十二神祇神楽保存会
千葉県	大沢田太々神楽保存会	島根県	西本里美氏(西田葛の復興)*	大分県	中村園太夫座人形淨瑠璃
新潟県	佐原綾子保存会	広島県	中野神楽保存会	宮崎県	加布里山笠保存会
富山県	片野尾歌舞伎保存会	山口県	八千代神楽団		新多神相撲保存会
福井県	八尾町曳山保存会	徳島県	鶯の舞保存会		大村龍踊り保存会
山梨県	糸崎寺佛舞保存会	香川県	森藤獅子舞保存会		木牟田子供神楽保存会
長野県	福谷区大火勢保存会	高知県	中山農村歌舞伎保存会		諸塙神楽保存会
岐阜県	藤木道祖神祭保存会	福岡県	佐喜浜八幡宮古式行事保存会		大人歌舞伎保存会
三重県	信級中原流太々神楽綾子保存会	長崎県	内野地区老松神社獅子舞保存会	<b>平成4年度助成(34)</b>	
滋賀県	高雄歌舞伎保存会	熊本県	坂本浮立保存会	北海道	安浦駒踊り保存会
大阪府	深野と紙保存会*	大分県	上井出神社奉納楽保存会		長沼町勇獅子舞保存会
	岩熊区雅楽保存会	宮崎県	大行事八幡宮(カッパ踊保存会)		妹背牛町獅子舞保存会
兵庫県	能勢町人形淨瑠璃実行委員会	鹿児島県	村所神楽保存会		上郷伝統工芸研究会 *
鳥取県	堺式手織段通技術保存協会*		東郷町文弥節人形淨瑠璃保存会		伊藤流行山鹿踊保存会
島根県	熊野神社裸祭り保存会	<b>平成6年度助成(40)</b>			鷹生郷土芸能保存会
	新田人形淨瑠璃芝居相生文楽	北海道	蘭越町根曲がり竹細工研究会 *		金津七夕祭保存会
	鹿子原の虫送り踊り保存会	青森県	鬼鹿松前神楽保存会		大葛金山民俗芸能保存会
	出雲民芸紙工房*	岩手県	鮫神楽保存会		前山郷土芸能保存会
	壬生農村歌舞伎保存会	宮城県	上郷伝統工芸研究会 *		押切神楽保存会
	常定神楽継承団体「戸山会」	秋田県	石橋鑑剣舞保存会		民具製作技術保存会 *
	別府岩戸神楽舞保存会	秋田県	夏井大梵天神楽保存会		山梨県 下部温泉神楽保存会
	犬飼農村舞台保存会	茨城県	塩入神楽保存会		岐阜県 岐南町伏屋獅子舞保存会
	家の浦二頭獅子舞保存会	東京都	北條郷總鎮守獅子冠事務所		三重県 東玉垣唐人踊り保存会
	大江山保存会	富山県	柿岡からくり人形保存会		一色町能楽保存会
	野市町立山神社棒術獅子舞保存会	石川県	西川古柳座		三日市オナイ保存会
	平八月祭り保存会	福井県	五ヶ種チヨンガレ踊り保存会		淡河八幡播州音頭踊り保存会
	西塙谷面浮立保存会	山梨県	柏野じょんがら保存会		池尻神社人形狂言保存会
	武雄流鏑馬実行委員会	長野県	能登の揚浜式製塩保存会 *		奈良県 龍口獅子舞保存会
	中尾獅子浮立と唐子踊保存会	岐阜県	だのせ祭り保存会		鳥取県 日南神楽 神光社
	久連子古代踊り保存会	三重県	美和神社太々神楽保存会		島根県 西本里美氏(西田葛の復興)*
	丸山俚楽保存会	大分県	日吉御鉤様祭り保存会		広島県 隠岐いぐり凧保存会 *
	今西三段打太鼓踊保存会	宮崎県	白鳥拝殿踊り保存会		備後かすり学習会 *
	入来麓庖瘡保存会	鹿児島県	大淀祇園祭保存会		羽佐竹神楽団後援会
	佐仁八月踊り保存会		貝塚東三吉馬保存会		山口県 鶯の舞保存会
	中村悦子氏(芙蓉布復元)*	大阪府	青田神楽保存会		高知県 船戸花取踊保存会
<b>平成8年度助成(43)</b>		兵庫県	奈良県 誠謡会		福岡県 大分獅子保存会
北海道	留萌岩戸神楽保存会	奈良県	真国御田保存クラブ		佐賀県 嬉野町今寺面浮立保存会
	(財)アイヌ民族博物館*	和歌山县	アリエ・グリシ*		長崎県 鷹島町島踊保存会
青森県	古懸獅子舞保存会	鳥取県	赤塚神楽佐義利保存会		大分県 荻田浮立保存会
岩手県	行山流都鳥鹿踊保存会	島根県	江の川水系漁撈文化研究会 *		宮崎県 武多都神楽保存会
	平組はしご虎舞保存会	広島県	名荷神楽団		鹿児島県 粕木臼太鼓踊り保存会
	武鎗鹿踊保存会	山口県	徳地人形淨瑠璃保存会		三島村八朔踊保存会
	鷹巣町綾子下町太鼓保存会				
	鳥田目番楽保存会				

平成3年～29年 都道府県別伝統文化助成先一覧(2)

\*印は民俗技術

助成先		助成先		助成先	
				平成8年度助成(続き)	
大分県	国東神楽社	京都府	棚倉孫神社瑞饋御輿保存会	山形県	西川一座
宮崎県	綾町宮原地区唐人踊り保存会	京都府	久多の山村生活用具保存会*	福島県	上三坂のやっちき踊り保存会
鹿児島	伊崎田和紙保存会*	大阪府	貝塚三夜音頭継承連絡会	茨城県	あんば囃子保存会
	鹿児島市中山町下虚無僧踊保存会	兵庫県	播州音頭踊保存連合会	栃木県	宗円獅子舞保存会
沖縄県	草戸原	奈良県	安堵町なもで踊り保存会	群馬県	沼田祇園囃子保存会連合会
	前バル原	和歌山	高芝の獅子舞保存会	千葉県	仁組獅子舞保存会
<b>平成11年度助成(48)</b>		鳥取県	福栄伝統芸能保存会	東京都	ふるさと資料館建設推進委員会*
北海道	蘭越町根曲がり竹細工研究会*	島根県	民谷神楽団	神奈川	仙石原神楽保存会
青森県	穂別町アイヌ民族文化保存会	岡山県	大賀島大智明權現保存会	新潟県	赤玉文化財保存会
岩手県	龍神社法靈神楽保存会	広島県	江波漕伝馬保存会	富山県	八尾町曳山保存会
宮城県	山内神楽保存会	徳島県	高川原勇獅子保存会		時の会-福野の過去・現在・未来-*
秋田県	城生野神樂会	香川県	東かがわ市白鳥虎頭舞保存会	福井県	加茂神社上宮の神事
山形県	大沢郷椒沢番楽保存会	高知県	土佐の暮らしの文化を守る会	山梨県	大久保文化財保存会
福島県	越沢自治会	福岡県	松会保存会		沢登六角堂切子保存会*
茨城県	海老根伝統手漉和紙保存会*	佐賀県	飯田面浮立保存会	長野県	成就神楽囃子保存会
栃木県	豊景神社太々神楽保存会	長崎県	若宮稻荷神社 竹ン芸保存会		阿島傘の会*
群馬県	日枝神社流鏑馬保存会	熊本県	中窪田神楽保存会	岐阜県	串原歌舞伎保存会
埼玉県	升塚獅子舞保存会	大分県	野々河内神楽保存会	愛知県	(財)平野町町政会
東京都	奥平神社獅子舞保存会	宮崎県	高城町穗満坊あげ馬保存会	三重県	一色町能楽保存会
新潟県	深作さら獅子舞保存会	鹿児島	徳重大太鼓踊り保存会		深野和紙保存会*
富山県	江戸消防彩粹會	沖縄県	平原利秋氏(ゴッパン・楽器製作)*	大阪府	船待神社神楽子供獅子踊り保存会
石川県	杉野沢民俗芸能保存会		泡瀬京太郎保存会	兵庫県	廣峯神社無形文化財保存協議会
福井県	福光ちょんがれ保存会		伊波貞子氏(メンサー・織物)*	奈良県	南都晃耀会
山梨県	上井田獅子舞保存会	<b>平成10年度助成(47)</b>		鳥取県	馬佐良申し上げ祭り保存会
長野県	美浜町和田区	北海道	穂別町アイヌ民族文化保存会	島根県	伝承ホーランエンヤ馬鴻櫂伝馬保存会
三重県	中之倉神楽保存会	岩手県	白符荒馬踊保存会	岡山県	川上町渡り拍子保存会
滋賀県	日野多慶子氏(願法寺の絵解き)	宮城県	丹内金津流鹿躍保存会	広島県	阿刀神楽保存会
大阪府	曾原かんこ踊保存会	秋田県	行山流鹿踊保存会	山口県	陶の腰輪踊り保存会
兵庫県	油日神社奴振り太鼓踊り保存会		山伏神楽保存会	愛媛県	お簾踊保存会
奈良県	吉志部神社どんじ保存会		雄物川町岡本新内伝承会	高知県	遼・三番双保存会
和歌山	大蔵谷獅子舞保存会		五城目町民俗芸能保存連絡協議会	福岡県	流鏑馬武徳会
鳥取県	吉野山青年団御田植神事保存会		横岡サエの神保存会	佐賀県	蔵上町民俗芸能保存会
島根県	小川郷土芸能保存会		平田さしこの会*	長崎県	鬼木鐘浮立保存会
広島県	芦津獅子舞保存会		猿田彦神社大和神楽保存会	熊本県	南阿蘇長野岩戸神楽保存会
山口県	御靈会風流保存会		大宮神社獅子舞保存会	大分県	天間地区公民館
徳島県	幸崎町能地春祭保存会		海南神社面神楽保存神楽師会	宮崎県	広原神楽保存会
香川県	数方庭保存会		湯川五社神社伶人会	鹿児島	大的始式保存会
愛媛県	阿波木偶箱まわし保存会		木津豊漁太鼓保存会		柏原区芸能保存会
	さぬき農村歌舞伎祇園座保存会		若狭町三宅六斎念佛保存会		武富旗頭復元実行委員会
高知県	高知獅子保存会		今庄羽根曾踊保存会	<b>平成9年度助成(47)</b>	
福岡県	長命講伊勢踊		内山柱松保存会	北海道	雷公神社神楽会
佐賀県	土佐歌舞伎伝承会		若松友志会	青森県	田子神楽保存会
	今津人形芝居保存会		栗谷念佛踊り保存会	岩手県	行山流都鳥鹿踊保存会
長崎県	嘉瀬之浦獅子浮立保存会		老杉神社頭屋行事保存会	宮城県	嵯峨立神楽保存会
熊本県	森鉢浮立保存会		伊根町立石区	秋田県	森岳歌舞伎保存会
	西大村浮立保存会		久多の山村生活用具保存会*	山形県	小田島田植踊保存会
大分県	樅木神楽保存会		野間出野秋祭り保存会	福島県	北部先囃子若龍会
宮崎県	高沢組太鼓踊り保存会		多可町中央公民館播州歌舞伎クラブ	栃木県	芦沼獅子舞保存会
鹿児島	五馬本村楽保存会		祭文音頭保存会	群馬県	沼須人形芝居保存会あけぼの座
	尾八重神楽保存会		木本八幡宮の御田祭保存会	千葉県	野田津久舞保存会
沖縄県	久留平氏(太鼓製作)*		円通寺人形芝居保存会	神奈川県	宮城野獅子舞保存会
	津貫中間豊祭太鼓踊り保存会		出雲大社教神代神楽波積支部波積神楽団	新潟県	瞽女唄ネットワーク
	平出水太鼓踊り保存会		今田町内会		越後弥彦手仕事俱楽部*
	佐敷町津波古獅子蹴跳保存会*		横野和紙工業協同組合*	富山県	八尾町曳山保存会
	保栄茂自治会		比和町郷土芸能振興会	石川県	小松市歌舞伎愛好会
<b>平成12年度助成(49)</b>			つるぎ町天の岩戸神楽保存会	福井県	和久里壬生狂言保存会
北海道	掛潤奴保存会		香翠座デコ芝居保存会	長野県	仁科神明宮神楽保存会
青森県	目名神楽会		弓削雨乞踊保存会	岐阜県	新楽舎獅子舞保存会
岩手県	上郷しし踊り保存会		西畠人形芝居保存会	静岡県	島田帶祭保存会
	塙沢早池峰神楽保存会		鐘崎盆踊り振興会	愛知県	古出来町神社奉贊会
宮城県	和済法印神楽保存会		東真手野舞浮立保存会	三重県	長太鯨船保存会
秋田県	秋田市太平山谷番楽保存会		嬉野町温泉区面浮立保存会		なすび団扇継承保存会*
山形県	沢渡獅子舞保存会		黒丸踊保存会		深野和紙保存会*
福島県	海老根伝統手漉和紙保存会*		目丸棒踊り保存会		綿向神社雅楽「楽人座」
	八楳都々古別神社楽人会		本町虫追い太鼓を考える会		

平成3年～29年 都道府県別伝統文化助成先一覧(3)

\*印は民俗技術

助成先		助成先		助成先	
長崎県 熊本県	滑石竜踊保存会 菜ノ花会*	大阪府 兵庫県 奈良県 和歌山 鳥取県 島根県 岡山県	櫻井西青年団 宗教法人 廣峯神社 月ヶ瀬奈良晒保存会* 熊野速玉大社祭事保存会 江波三番叟保存会 都神楽団 地域伝統工芸がませごの会*	茨城県 群馬県 埼玉県 神奈川 新潟県 富山県 山梨県 長野県 愛知県	西金砂神社田楽舞保存会 平出歌舞伎保存会 日進餅つき踊り保存会 NPO法人小田原鑄物研究所* 城腰花笠踊保存会 岩瀬まだら保存会 八朔祭下町屋台保存会 小菅柱松神事保存会 大治太鼓保存会 能田徳若万歳保存会 ゆうづる会*
大分県	九州相良古代踊り下免田保存会	広島県	神根神社獅子舞保存会 磐門神楽団 郷之崎神楽団 山崎八幡宮 本山神事保存会 大俣じょうれい踊り保存会	三重県	大江鞆鼓踊保存会 下笠参弥礼踊り保存会 さいれん坊主保存会 月ヶ瀬奈良晒保存会*
宮崎県	佐伯市宇目酒利獅子保存会 下旦祇園囃子保存会こども祇園囃子 行縢町臼太鼓踊り保存会 六日町ヨイマカ保存会	山口県 徳島県 愛媛県	河内口説保存会 野間獅子連中 浮羽町石垣保存実行委員会* 佐賀錦振興協議会*	滋賀県 兵庫県 奈良県	田口水分神社奉讃会 竹田さいとりさし少年団 追神頭打供盛団 養山八幡の吹囃子行事保存会 柳井縞の会*
鹿児島	塩田次郎氏(薩摩琵琶製作)* 鮫島健志氏(加世田の鍛冶)*	福岡県 佐賀県	西神野玄蕃一流浮立保存会 千代田中部小学校 高志狂言保存会 大浦区舟グロー保存会 菜ノ花会*	鳥取県 島根県 広島県 山口県	祝島神舞奉贊会 坂州若連中 ひょうげ祭り保存会 野市町立山獅子舞芸術保存会 川名津神楽保存会
沖縄県	大浜青年会 今泊棒術保存会	長崎県 熊本県	相良吾平阿蘇神社伝統神楽保存会 産島八幡宮海を渡る祭礼保存会 板井迫神楽保存会 虚無僧踊保存会 塩田次郎氏(薩摩琵琶製作)*	徳島県 香川県 愛媛県	高知県 福岡県 吉木芸能保存会 立岩浮立保存会 馬渡区鉢浮立保存会 土井丸浮立保存会 大浦区舟グロー保存会 嵯峨島オーモンデー保存会 福山神楽保存会 放生会委員会 北原人形芝居保存会 伊形花笠踊り保存会 塩田次郎氏(薩摩琵琶製作)*
<b>平成15年度助成(35)</b>					
北海道	剣渕神楽保存会「剣龍会」	北海道	篠路歌舞伎保存会	高知県	一の宮万歳保存会
青森県	大川原の火流し保存会	青森県	入口青年会	福岡県	吉木芸能保存会
宮城県	山田大名列行組合	岩手県	彦部郷土芸能保存会	佐賀県	立岩浮立保存会
秋田県	潟船保存会*	宮城県	板用肩怒剣舞保存会	長崎県	馬渡区鉢浮立保存会
山形県	根子番楽保存会	秋田県	河南鹿嶋ばやし保存会	熊本県	土井丸浮立保存会
群馬県	吹浦田樂保存会	山形県	君萱若松神社神楽会	大分県	大浦区舟グロー保存会
千葉県	行田獅子舞保存会	福島県	東長野さら保存会	宮崎県	嵯峨島オーモンデー保存会
神奈川	バッパカ獅子舞保存会	茨城県	南陽市古代織りの伝統を守る会*	鹿児島	福山神楽保存会
石川県	長谷ささら踊り盆唄保存会	栃木県	白鳥神社太々神楽保存会	沖縄県	放生会委員会
岐阜県	輪島市本町キリコ奉賛会	群馬県	真家みたまおどり保存会	宮崎県	北原人形芝居保存会
静岡県	数河獅子保存会	埼玉県	上横倉の獅子舞保存会	鹿児島	伊形花笠踊り保存会
愛知県	富士宮囃子保存会	千葉県	千本木龍頭神舞保存会	沖縄県	塩田次郎氏(薩摩琵琶製作)*
三重県	ちんとろ祭委員会	東京都	沖内囃子保存会	高知県	下小原八月踊保存会
滋賀県	本郷「かんこ」踊り保存会	神奈川	野田津久舞保存会	福岡県	大川青年会
京都府	志那中サンヤレ踊り保存会	富山県	手作り絹研究会・多摩織部会*	佐賀県	謝名アヤチ獅子保存会
<b>平成14年度助成(48)</b>					
兵庫県	二箇上区	青森県	相模里神楽垣澤社中	北海道	ペーパン福島踊り保存会
奈良県	阿良須神社練込保存会	岩手県	諏訪神社獅子舞保存会	青森県	高館駒踊り保存会
和歌山	魚吹八幡神社武神祭保存会	宮城県	じじぐれ祭保存会	岩手県	小袖漁撈唄保存会
鳥取県	尾山萬歳保存会	秋田県	下市之瀬獅子舞保存会	宮城県	湯屋神楽保存会
島根県	椎出の鬼の舞保存会	福島県	表門神社神楽保存会	秋田県	筆甫神楽保存会
広島県	貴布禰神社獅子舞保存会	茨城県	木賊獅子保存会	青森県	八沢木獅子舞保存会
徳島県	見々久神楽保持者会	栃木県	有道しゃくし保存会*	岩手県	福米沢送り盆保存会
愛媛県	枝の宮田樂団	群馬県	伝承知多木綿つものき*	宮城県	八ツ沼大名列行組合
高知県	つるぎ町一字雨乞い踊り保存会	埼玉県	石上げ祭伝承保存会	秋田県	両原早乙女踊り保存会
福岡県	佐田岬裂織り保存会*	千葉県	野口御神楽保存会	青森県	東金砂神社田楽舞保存会
佐賀県	客天弓祈禱保存会	東京都	上砥山田楽踊保存会	岩手県	大沢田太々神楽保存会
長崎県	狩山豊年踊保存会	神奈川	南光子ども歌舞伎育成会	宮城県	群馬県
熊本県	求菩提山お田植祭保存会	富山県	月ヶ瀬奈良晒保存会*	秋田県	神奈川
大分県	仁比山神社大御田祭御田舞保存会	福井県	藤白の獅子舞保存会	青森県	新潟県
宮崎県	上戸石町芸能保存会	山梨県	南本通吉兆行事保存推進協議会	岩手県	福井県
鹿児島	西安寺神楽保存会	長野県	白明会*	宮城県	長野県
沖縄県	大恩文化財愛護少年団	岐阜県	大朝飾り牛保存会	秋田県	岐阜県
<b>平成13年度助成(50)</b>					
青森県	唐瀬子供神楽会	愛知県	徳佐はやしだ保存会	青森県	愛知県
岩手県	田之浦山宮神社神楽保存会	三重県	井原圭子氏(和紙用簀製作)*	岩手県	三重県
宮城県	いしやなぎら青年会	滋賀県	水田天満宮稚兒風流保存会	宮城県	滋賀県
秋田県	<b>平成12年度助成(50)</b>				
山形県	<b>平成11年度助成(36)</b>				
福島県	片岸えんぶり組	長野県	戸ヶ里浮立保存会	青森県	ペーパン福島踊り保存会
栃木県	田東剣舞保存会	岐阜県	祖子分面浮立保存会	岩手県	高館駒踊り保存会
群馬県	廿一田植踊保存会	愛知県	西金砂神社田楽舞保存会	宮城県	小袖漁撈唄保存会
千葉県	黒川番楽保存会	三重県	金沢舞保存会	秋田県	湯屋神楽保存会
山形県	羽黒山松例祭若者衆	滋賀県	月ヶ瀬奈良晒保存会*	青森県	筆甫神楽保存会
福島県	昭和村からむし織後継者 →育成事業実行委員会*	兵庫県	藤白の獅子舞保存会	岩手県	八沢木獅子舞保存会
栃木県	尾ざく獅子舞保存会	奈良県	南本通吉兆行事保存会	宮城県	福米沢送り盆保存会
群馬県	赤城町古典芸能保存会	和歌山	白明会*	秋田県	八ツ沼大名列行組合
千葉県	本納滝之谷獅子舞保存会	島根県	大朝飾り牛保存会	青森県	両原早乙女踊り保存会
東京都	むさしのばやし保存会	岡山県	徳佐はやしだ保存会	岩手県	東金砂神社田楽舞保存会
神奈川	三増獅子舞保存会	広島県	井原圭子氏(和紙用簀製作)*	宮城県	大沢田太々神楽保存会
富山県	宮崎神楽保存会	山口県	水田天満宮稚兒風流保存会	秋田県	群馬県
長野県	和田中神社太神楽保存会	愛媛県	戸ヶ里浮立保存会	青森県	神奈川
愛知県	上駒沢祭典保存会	福岡県	祖子分面浮立保存会	岩手県	新潟県
三重県	向山神楽獅子保存会	佐賀県	西金砂神社田楽舞保存会	宮城県	福井県
	水沢お諏訪おどり保存会				長野県

平成3年～29年 都道府県別伝統文化助成先一覧(4)

\*印は民俗技術

助成先		助成先		助成先			
熊本県	大浦獅子保存会	秋田県	大湯太鼓保存会	平成16年度助成(続き)			
熊本県	柳別府太鼓踊り保存会	福島県	会津万歳安佐野保存会	滋賀県	ずいき祭保存会		
大分県	深山流朝地神楽保存会	茨城県	片野排禍ばやし保存会	京都府	丹後藤原舞興会*		
宮崎県	郷之原芸能協賛会	栃木県	興野さら獅子舞保存会	大阪府	大阪太鼓文化研究会*		
鹿児島	鮫島健志氏(加世田の鍛冶)*	群馬県	泉沢町郷土芸能保存会	兵庫県	小五月祭(棹の歌)保存会		
沖縄県	如竹踊り保存会	千葉県	万作踊り松戸保存会	鳥取県	賀露神社麒麟獅子舞保存会		
	古見民俗芸能保存会	東京都	美山町鶴獅子舞保存会	島根県	須佐神楽保存会		
平成20年度助成(40)		神奈川	あつぎひがし座	広島県	小原大元神楽 小原神楽団		
北海道	寿都松前神楽保存会	石川県	加賀万歳保存会	香川県	南方の万灯保存会		
青森県	上十川獅子踊り保存会	福井県	舟寄踊り保存会	愛媛県	肥土山農村歌舞伎保存会		
岩手県	都鳥田植踊り保存会	愛知県	きねこさ祭保存会	高知県	豊茂五ヶ鹿踊り保存会		
宮城県	日高見流浅部法印神楽保存会	滋賀県	椿神社流鏑馬保存会	佐賀県	西諸木花取踊り保存会		
秋田県	鳥海山小滝舞楽保存会	大阪府	大阪欄間工芸協同組合*	長崎県	広瀬浮立保存会		
山形県	舟渡獅子踊り保存会	兵庫県	仁色長持保存会	熊本県	太田尾地蔵祭飾ぞうめん保存会*		
福島県	北萱浜神楽愛好会	和歌山	糸我郷土伝統芸能保存会	大分県	戸根浮立保存会		
栃木県	下鉢石町自治会	鳥取県	美成地区	宮崎県	加勢川開発研究会合せ打保存会*		
	宝積寺白鬚神社雅楽部	島根県	野石谷伝統芸能保存会	鹿児島	下里白太鼓踊り保存会		
群馬県	椿名神社太々神楽保存会	広島県	諸木郷土芸能保存会	沖縄県	荻神社俚樂		
埼玉県	脚折雨乞行事保存会	徳島県	多田健二氏(阿波木偶人形制作)*		太郎坊べぶ踊り保存会		
千葉県	岩沼の獅子舞保存会	香川県	香翠座デコ芝居保存会		入来神舞保存会		
東京都	田無ばやし保存会	福岡県	豊前感応楽保存会		新川青年会		
神奈川	海南神社行道面保存会	佐賀県	西牟田区子供みこし・鉦浮立保存会	平成17年度助成(37)			
新潟県	他門神楽保存会	長崎県	平島ナーマイドー保存会	青森県	青森ねぶた正調囃子保存会		
	半田神社神楽舞保存会	熊本県	ききつ船津ペーロン保存会	岩手県	大ヶ生山伏神楽保存会		
富山県	八口諫訪社獅子舞保存会		竹迫観音祭保存下町分会	宮城県	大船渡喜多会		
山梨県	大垣外獅子舞保存会	大分県	栖本町郷土芸能保存会	秋田県	新城の田植踊り保存会		
岐阜県	美濃歌舞伎保存会	宮崎県	保戸島伝統芸能保存会	山形県	赤田獅子舞保存会		
静岡県	掛塚屋台囃子保存会	鹿児島	熊襲踊り保存会	福島県	蕨岡延年の舞保存会		
愛知県	六ツ師獅子舞保存会		細野一区輪太鼓踊り保存会	茨城県	館早乙女踊保存会		
三重県	生桑町長松神社鏡餅奉納会	鹿児島	小島棒踊り保存会	栃木県	木目沢三匹獅子保存会		
	曾原かんこ踊保存会		中間棒踊り保存会	埼玉県	日立郷土芸能保存会		
滋賀県	篠田の花火保存会*	沖縄県	中城村字津霸伝統芸能保存会	千葉県	三本木獅子舞保存会		
大阪府	だいがく保存会	平成19年度助成(39)					
奈良県	川西町保田自治会	北海道	寿都松前神楽保存会	青森県	辻の獅子舞保存会		
和歌山	ねんねこ祭保存会	青森県	大平太神楽	岩手県	岩沼の獅子舞保存会		
島根県	岩野原獅子舞保存会	岩手県	法領田獅子踊り保存会	宮城県	中野獅子保存会		
岡山県	福石神楽団	宮城県	羽山神楽保存会	秋田県	幸田羯鼓舞保存会		
広島県	名字獅子舞保存会	秋田県	浪板虎舞保存会	山形県	東京都	矢部八幡宮獅子舞保存会	
	五日市芸能保存会	山形県	鳥海山日立舞横岡番楽保存会	神奈川	神奈川区保存会		
徳島県	後山からくり襖絵保存会	福島県	幸生区・三地区契約会	福井県	蕨生区自治会		
香川県	流水灌頂法要保存会	福島県	浮島神社太々神楽保存会	山梨県	高尾山穂見神社神楽保存会		
福岡県	下町獅子山保存会	栃木県	糠塚三四獅子保存会	長野県	熊野神社祭囃子保存会		
長崎県	上原浮立保存会	群馬県	芦沼獅子舞保存会	愛知県	桐原獅子舞保存会		
熊本県	川島神楽連	埼玉県	山本政史氏(日光下駄製作)*	三重県	牧野嶋念佛踊り保存会		
	都呂々獅子舞太鼓踊り保存会	千葉県	貝沢西組獅子舞保存会	滋賀県	白塚町通夜講		
宮崎県	入下神楽保存会	東京都	下日出谷餅搗踊り保存会	兵庫県	渋川花踊り保存会		
鹿児島	前野田植唄民謡保存会	新潟県	八幡神社の獅子舞保存会	奈良県	住吉神社水無月祭打込囃子保存会		
沖縄県	船浮民俗芸能保存会		星竹囃子連	和歌山	田原地区伝統芸能保存会		
平成21年度助成(42)							
北海道	大船南部神楽保存会	石川県	内島見神楽保存会	春駒保存会			
青森県	乳井獅子保存会	福井県	二所宮獅子舞保存会	島根県	矢上田植ばやし保存会		
岩手県	四ツ堰鹿子踊り保存会	山梨県	長畠日向神楽保存会	広島県	羽佐竹神楽団後援会		
	村崎野大乗神楽保存会	長野県	藤木道祖神祭保存会	福岡県	八女市土橋八幡宮神幸行事保存会		
宮城県	中新田火伏せの虎舞保存会	愛知県	山新田太神楽保存育成会	佐賀県	川内浮立保存会		
秋田県	梅内郷土芸能保存会	三重県	名古屋港筏師一本乗り保存会	長崎県	三部区		
福島県	渡戸高野・鰐組	滋賀県	矢浜神楽保存会	熊本県	中尾獅子浮立と唐子踊保存会		
栃木県	文挟流手岡獅子舞講中	京都府	大原学区豊年太鼓踊り保存会	大分県	宝川内志賀段七踊り保存会		
群馬県	新井八幡宮獅子舞保存会	兵庫県	田山花踊り保存会	宮崎県	田原獅子保存会		
埼玉県	北袋囃子連	岡山県	小野原住吉神社神舞保存会	鹿児島	川内棒踊り保存会		
	不入斗同志会	広島県	栗井春日歌舞伎保存会	沖縄県	久見崎盆踊り「想夫恋」保存会		
千葉県	代々木囃子保存会	山口県	長尾神社湯立神楽保存会		天願獅子舞保存会		
東京都	山田獅子舞保存会	徳島県	藤生神楽保存会	平成18年度助成(37)			
神奈川	小向獅子舞保存会	香川県	上八万伝統文化を守る会	北海道	元更別大国神社石見神楽保存会		
新潟県	羽森神社神楽舞保存会	愛媛県	賀茂神社長床神事保存会	青森県	斗内獅子舞保存会		
富山県	樋山獅子舞保存会	高知県	かぶと踊り保存会	岩手県	豊沢大念佛劍舞保存会		

平成3年～29年 都道府県別伝統文化助成先一覧(5)

\*印は民俗技術

助成先		助成先		助成先			
栃木県 群馬県 埼玉県 千葉県 東京都 新潟県 富山県 石川県 福井県 山梨県 長野県 岐阜県 愛知県 三重県 滋賀県 大阪府 兵庫県 奈良県 和歌山 岡山县 広島県 山口県 徳島県 香川県 愛媛県 高知県 福岡県 佐賀県 長崎県 熊本県 大分県 宮崎県 鹿児島 沖縄県		鹿島神社郷土芸能保存会 天命鑄物伝承保存会* 白瀧神社太々神楽保存会 下小坂獅子舞保存会 飯岡ばやし 日の出会 高井戸囃子保存会 大谷地和紙保存会* 蔵王稚兒舞の会 加茂神社神事伝承会 向栗崎悪魔払い保存会 多賀区獅子保存会 中之倉神楽保存会 湯原神社式三番保存会 河鹿神社賀喜踊保存会 万足平を考える会* 村木神社おまんと祭り保存会 戸木東組かんこ踊り保存会 小野町太鼓踊保存会 深江菅細工保存会* 西町獅子舞保存会 田原地区伝統芸能保存会 堅田祭保存会 大浦神社 御調八幡宮花の踊り保存会 上野神樂舞保存会 森藤獅子舞保存会 安田おどり保存会 井原圭子氏(和紙用簣製作)* 泉州長者花鳥踊り保存会 植木の三申踊保存会 鳥海浮立保存会 森山本村郷土芸能保存会 東浦臼太鼓踊り保存会 北原人形芝居保存会 不土野芸能保存会 土踊保存会 童子八月踊り研究会 豊見城市 高安自治会		熊本県 大分県 宮崎県 沖縄県 北海道 青森県 岩手県 宮城県 秋田県 山形県 福島県 群馬県 埼玉県 千葉県 東京都 神奈川 新潟県 富山県 福井県 山梨県 長野県 岐阜県 静岡県 愛知県 三重県 京都府 大阪府 兵庫県 奈良県 島根県 広島県 山口県 徳島県 香川県 愛媛県 高知県 福岡県 佐賀県 長崎県 熊本県 大分県 宮崎県 鹿児島 沖縄県		栖本町郷土芸能保存会 新町自治会 高木郷土芸能保存会 都城市高城町桜木あげ馬保存会 鳩間民俗芸能保存会 平成23年度助成(42) 糠内獅子舞保存会 同心町熊野神社神楽連 外山神楽保存会 熊野堂神楽・舞楽・十二神鹿踊保存会 福嶋サイサイ囃子保存会 若宮八幡神社太々神楽保存会 杉沢愛宕神社三匹獅子保存会 美茂呂町屋台囃子保存会 白久串人形芝居保存会 旅名自治会 鹿島流獅子舞引田保存会 諏訪神社崇敬会 川名屋台ばやし保存会 天神林天満宮伶人会 田島自治会 宇波西神社神事芸能保存会 山梨岡神社舞子 NPO法人小谷山村留学育成会* 小野八幡神社祭礼運営委員会 東光寺猿舞保存会 中之切奉贊会 立神自治会 周枳民芸保存会三番叟組 野崎第一地車保存会 淡路人形浄瑠璃青年研究会 神波多神社獅子神楽保存会 出雲國奏楽錬成会 大朝飾り牛保存会 お手廻り保存会 大谷郷土文化保存会 七宝古流本村夫婦獅子舞保存会 佐方獅子保存会 大利太刀踊保存会 せんご踊り保存会 平八月祭り保存会 南片白区浮立保存会 馬場本浮立保存会 小屋川内獅子舞保存会 重岡岩戸神楽保存会 花木地区郷土芸能あげ馬保存会 鹿児島市西上太鼓踊り保存会 伊平屋村青年団協議会 五戸えんぶり組 門中組振興会 片岸虎舞保存会 山岸さんざ踊り保存会 小室契約会 浪板虎舞保存会 磯草虎舞保存会 大谷大漁唄い込み保存会 長塩谷南部神楽保存会 大室南部神楽保存会 相川南部神楽保存会 有限会社仙台堆朱製作所* 秋田万歳保存会 大谷神楽保存会 川原田神楽保存会 新館太々神楽保存会	
				石川県 長野県 静岡県 愛知県 三重県 滋賀県 京都府 兵庫県 奈良県 和歌山 鳥取県 島根県 岡山県 広島県 徳島県 香川県 福岡県 佐賀県 長崎県 熊本県 鹿児島 沖縄県			
		門前とどろ保存会 町区太々神楽実行委員会 高岡道祖神日待占祭保存会 笛間神楽保存会 日下部太鼓保存会 大江鞆鼓踊保存会 中堀町自治会孔明祈水山保存会 質美下村区文化財保存委員会 日吉神社龍王の舞及び祝詞太鼓保存会 福住下自治会 八島町六斎念佛講 南道奴行列保存会 江波三番叟保存会 島根県 八神神楽団 龜山将氏(足踏み水車の修復)* 岡山県 広島県 徳島県 香川県 福岡県 佐賀県 長崎県 熊本県 鹿児島 沖縄県		平成21年度助成(続き) 平成22年度助成(42)			
				青森県 岩手県 宮城県 秋田県 山形県 福島県 茨城県 栃木県 群馬県 埼玉県 千葉県 東京都 新潟県 富山県 福井県 山口県 徳島県 香川県 愛媛県 高知県 福岡県 佐賀県 長崎県 熊本県 鹿児島 沖縄県		二ツ森神楽芸能保存会 門中組振興会 佐藤明彦氏(堤人形製作)* 冬師番楽保存会 西袋獅子踊保存会 菅波伝統文化継承会 あおき囃子連 河井獅子舞保存会 木崎音頭保存会 三若会 柏合獅子舞保存会 熊野神社神楽保存会 上本郷獅子講中 櫻立踊り保存会 川根谷内獅子保存会 福島青年親交会 小松尾小屋鳶保存会 玉依比賣命神社 加納まちづくり会(和傘製作)* 巖室神社鎮火祭保存会 有松天満社文嶺講 牛蒡祭保存会 志賀神社氏子継代 三ツ松明土行念佛保存会 北野まつり保存会 惣谷狂言保存会 向垣神社祭礼行事保存会 御靈会風流保存会 佐方子供吉備神楽伝承教室 おおたけ手すき和紙保存会* 山代白羽神楽保存会 橘だんじり祭り獅子組 北方獅子舞保存会 シットロト踊り保存会 鷹尾神社伝統芸能文化保存維持会 母ヶ浦面浮立保存会 平島盆踊り保存会	
青森県 岩手県 宮城県 秋田県 山形県 福島県 茨城県 栃木県 群馬県 埼玉県 千葉県 東京都 新潟県 富山県 石川県 福井県 山梨県 岐阜県 愛知県 三重県 滋賀県 大阪府 兵庫県 奈良県		上川目神楽保存会 大石虎舞組 二子築館神楽保存会 鳥屋ヶ崎八幡神社獅子舞保存会 釜ヶ台番楽保存会 中獅子踊り保存会 和田神社太々神楽保存会 久保田のおはやし保存会 万町一丁目東自治会 新田赤堀獅子舞保存会 北本宿囃子連 神明社神楽保存会 関下囃子 檜原村春日神社御飼神事保存会 長沢祭典実行委員会 打出青壯年部 串町町内会 閻見神社例祭神事保存会 新町お囃子保存会 NPO法人グリーンウッドワーカ協会・竹部会* 愛知・半田・板山万歳保存会 東玉垣唐人踊り保存会 鍋冠祭保存会 御領地車保存会 羽淵獅子舞保存会 吐山太鼓踊り保存会		平成25年度助成(42) 平成24年度助成(54)			
				青森県 岩手県 宮城県 秋田県 山形県 福島県 茨城県 栃木県 群馬県 埼玉県 千葉県 東京都 新潟県 富山県 石川県 福井県 山梨県 岐阜県 愛知県 三重県 滋賀県 大阪府 兵庫県 奈良県			

平成3年～29年 都道府県別伝統文化助成先一覧(6)

\*印は民俗技術

助成先		助成先		助成先	
平成28年度助成(続)		平成27年度助成(44)		平成25年度助成(続)	
長野県	影山区	北海道	遠矢神楽舞保存会	和歌山	三船踊り保存会
愛知県	白山神社奉納雅楽舞踊保存会	青森県	甲地神楽保存会	島根県	美保神社神事奉賛会
三重県	牛蒡祭保存会	岩手県	小通芸能保存会	岡山県	佐方ひがさき踊り保存会
滋賀県	金居原太鼓踊り保存会	宮城県	楳沢芸能保存会	広島県	錦城神楽団
京都府	福知山市佛性寺自治会	秋田県	三輪流神楽保存会	山口県	滝坂神楽舞保存会
兵庫県	熊野神社淨舞保存会	山形県	坂之下番楽保存会	徳島県	宿毛谷獅子舞保存会
奈良県	龍口獅子舞保存会	茨城県	綱木獅子踊り保存会	愛媛県	金栄会
和歌山	土生八幡神社「お頭保存会」	栃木県	古内大杉ばやし保存会	高知県	四ツ白武士踊り会
鳥取県	大和佐美命神社獅子舞保存会	埼玉県	天下一闘白流西組獅子舞保存会	福岡県	安武楽保存会
島根県	野石谷伝統芸能保存会	千葉県	久那獅子舞保存会	佐賀県	豊前小倉織研究会*
広島県	下板木コミュニティー	東京都	金鑽神樂永田組	長崎県	執行分浮立保存会
山口県	むつみ神楽保存会	神奈川	浄土宗西福寺	熊本県	長崎明清楽保存会
徳島県	東辻郷獅子舞牡丹連保存会	新潟県	大宮前郷土芸能保存会	宮崎県	市房山神宮里宮神社
愛媛県	NPO法人姫だるまプロジェクト*	富山県	多摩めかいの会*	鹿児島	長坂なれなれなすび踊り保存会
高知県	日高村太刀踊保存会	長野県	根府川寺山神社鹿島踊保存会		中野神社神楽保存会
福岡県	元岡祇園ばやし保存会	岐阜県	昔かたり春よこい		黒潮太鼓
佐賀県	宮野浮立保存会	愛知県	広野自治会		平成26年度助成(44)
長崎県	横尾だんじり保存会	三重県	神子原壯年団	北海道	美和権現獅子舞保存会
熊本県	東方組太鼓踊り保存会	滋賀県	日和山神社芸能保存会	青森県	目名神樂会
大分県	岡倉神樂保存会	京都府	綾野第三自治会小獅子軸保存会	岩手県	の組菱和会
宮崎県	酒谷地区むらおこし推進協議会	大阪府	知立神樂保存会	宮城県	白浜自治会(旧白浜契約会)
鹿児島	重久神事神舞保存会	兵庫県	若宮八幡神社北村石取り祭車保存会	山形県	舟渡獅子踊り保存会
沖縄県	友寄獅子舞棒術保存会	奈良県	大野木豊年太鼓踊保存会	福島県	松岡若連
	崎原克友 氏(八重山上布織物技術)*	和歌山	玉田神社宮座「森座」	栃木県	日光囃子保存会
平成29年度助成(43)		千葉県	中垣内地車保存会	群馬県	津久田人形操作伝承委員会
北海道	有明獅子舞有志の会	東京都	土師獅子舞保存会	埼玉県	今成地区山車・囃子保存会
青森県	国吉獅子踊保存会	神奈川	篠原おどり保存会		赤沼民俗文化財保存会
岩手県	篠木神楽保存会	愛知県	亀の川念佛踊り保存会	千葉県	久長元耕地獅子舞保存会
岩手県	平泉流細野念佛劍舞	三重県	菖蒲神社麒麟獅子舞保存会	東京都	道庭獅子連保存会
秋田県	脇本山車どんど保存会	岐阜県	三谷神社獅子舞保存会	神奈川	八幡囃子保存会
秋田県	亀田大神樂神樂講	長野県	山根神樂団	新潟県	台祭囃子保存会
山形県	岩根沢大々神樂保存会	岩手県	おおたけ手すきと紙保存会*	富山県	水沢伝統芸能保存会
福島県	荒獅子保存会	山口県	切山歌舞伎保存会	石川県	加茂神社神事伝承会
栃木県	伊王野下町祭保存会	徳島県	池谷郷土芸能保存会	福井県	内灘町宮坂区
埼玉県	東不動院野神樂保存会	愛媛県	井原圭子氏(和紙用簞製作)*	山梨県	鈴鹿区太鼓保存会
埼玉県	古久喜獅子舞保存会	福岡県	永井獅子保存会	長野県	一之瀬高橋春駒保存会
千葉県	熊野神社神樂保存会	佐賀県	浮立・荒踊り保存会	岐阜県	根神社式三番叟保存会
東京都	清水ばやし保存会	長崎県	命婦の舞保存会	愛知県	綾野第4自治会綾野祭軸猩々軸保存会
神奈川	野比中村虎踊り保存会	熊本県	仲町の茶わん鉢保存会		上名和祭りばやし保存会
新潟県	浦瀬町奏楽保存会	大分県	宇土市轟泉簡易水道組合*	滋賀県	東大高祭禮保存会
石川県	柴垣壮年団	宮崎県	堅浦古典芸能保存会	京都府	下笠参弥礼踊り保存会
福井県	津島区神樂保存会	鹿児島	神下俵踊り保存会		出雲風流花踊り保存会
長野県	小市神樂囃子保存会	鹿児島	目手久民謡保存会		NPO法人丹波漆*
岐阜県	関市獅子舞保存会	沖縄県	仲西獅子舞保存会	大阪府	延喜式内社 岐尼神社
静岡県	江浦伝統文化保存会			和歌山	池田秀孝氏(紀州高野組子細工技術)*
岐阜県	岐阜と傘プロジェクト*	北海道	寿都松前神樂保存会	鳥取県	服部神社獅子舞保存会
愛知県	出川町棒ノ手保存会	青森県	入口青年会	島根県	玉造調理師会
三重県	大淀東区自治会	岩手県	嘉瀬奴踊り保存会	広島県	山波神樂団
滋賀県	井之口太鼓踊保存会	宮城県	板沢しし踊り保存会	山口県	住吉神社お船謡保存会
大阪府	大東市中垣内自治会	秋田県	赤谷神樂保存会	徳島県	鳴門大凧保存会
和歌山	太地町民芸保存会寄水青年同志会	山形県	鳥海山小滝舞樂保存会	香川県	石切唄保存会
鳥取県	波津神社獅子舞保存会	福島県	清川獅子神樂実行部会	愛媛県	掛木天満宮「牛鬼」保存会
島根県	深野神楽こども教室		太田川梅若歌念佛踊保存会	高知県	御田八幡宮秋の例祭保存会
岡山県	仕組踊保存会 城扇	栃木県	梅田三四獅子舞保存会	福岡県	柳川市立柳河小学校 →特別クラス「子どもどろつくどん」
広島県	上河内獅子舞保存会	群馬県	大沢獅子舞保存会	佐賀県	川上鉢浮立保存会
山口県	徳地人形淨瑠璃保存会	埼玉県	鷺宮太々神樂保存会	長崎県	東上面浮立保存会
徳島県	池谷神踊り保存会		栗生田囃子会	熊本県	熊本新町獅子保存会
香川県	賀茂神社長床神事保存会	千葉県	新久はやし保存会	宮崎県	細江神樂保存会
福岡県	水田天満宮稚兒風流保存会	東京都	家之子獅子連郷土芸能保存会	鹿児島	風田製糖組合*
佐賀県	納富分浮立保存会	神奈川	森山はやし保存会	沖縄県	花尾太鼓踊り保存会
長崎県	東浜町一組女相撲保存会	新潟県	田村ばやし保存会		勢理客区
熊本県	菊池市下出田区、植古閑区	富山県	小川連中		
大分県	三輪流臼杵神樂保存会	福井県	岩瀬白山町曳山愛好会		
宮崎県	麓輪太鼓踊り保存会		日吉青年会		

平成3年～29年 都道府県別伝統文化助成先一覧(7)

\*印は民俗技術

助成先	
平成29年度助成(続き)	
鹿児島	ナゴシドン実行委員会 ヨンシ-踊保存会 新里民俗芸能保存会 伊是名区
沖縄県	
平成30年度助成(43)	
北海道	砂川もちつき保存会 越中踊り子供保存会 留萌岩戸神楽保存会 柏木町荒馬保存会 八幡崎郷土芸能保存会 善楽流獅子舞保存会 大槌城山虎舞
青森県	宮刈田嶺神社附属神楽組 鹿角紫根染・茜染研究会*
岩手県	板戸番楽保存会 致芳地区文化振興会 磐梯町 本寺区
宮城県	門鹿王子神社太々神楽保存会
秋田県	天下一闘白神獅子舞保存会 八木原諏訪神社太々神楽舞子会
山形県	金鑽神楽岡部組保存会 賀茂神社民俗芸能保存会
福島県	青梅市虎柏神社祭礼行事保存会 赤塚太々神楽保存会 田井野区(多由比神社伝統芸能保存会)
栃木県	野辺町来迎念佛講 東座歌舞伎保存会
群馬県	東光寺猿舞保存会
埼玉県	愛知県 藤江神社ハッ頭舞楽保存会
千葉県	三重県 田口念佛踊継承会
東京都	滋賀県 黒川花笠太鼓踊り保存会
新潟県	長野県 広川町古典芸能保存会
福井県	岐阜県 秋里伝統文化を保存する会
長野県	島根県 三葛神楽保持者会
岐阜県	静岡県 豊原地区腰輪踊り保存会
静岡県	山口県 信正鉦踊り保存会
愛知県	徳島県 香川県
三重県	和歌山 天神花踊り保存会
滋賀県	鳥取県 佐喜浜八幡宮古式行事保存会
和歌山	高知県 博多鉦製作技術保存会*
鳥取県	福岡県 前田の盆踊保存会
島根県	佐賀県 下新ヶ江地区沖ノ島太鼓浮立保存会
山口県	長崎県 正山八ノ川青年団
徳島県	熊本県 清源寺神楽保存会
香川県	大分県 山香神楽保存会
愛媛県	宮崎県 比木神社神楽会
高知県	鹿児島 竹田神社からくり保存会
福岡県	沖縄県 松原自治会(獅子舞保存会)
累計助成件数 1,180件	

# 財団案内

## □□□□□□□□□□□□　財団の目的　□□□□□□□□□□□□

明治安田クオリティオブライフ文化財団(理事長:関口憲一)は、音楽における人材育成ならびに地域の伝統文化の保存維持、および後継者育成に対する助成などをおこない、もって国民生活の質的向上ならびにわが国文化の発展に寄与することを目的としています。

□□

### 【財団の概要】

名 称	公益財団法人 明治安田クオリティオブライフ文化財団 The MEIJI YASUDA CULTURAL FOUNDATION
設 立	平成3年(1991年)6月10日
主務官庁	内閣府
基本財産	15億円
事業内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・音楽分野における若手芸術家の人材育成に対する助成</li><li>・民俗芸能等地域の伝統文化の保存維持、後継者育成に対する助成</li><li>・芸術文化活動に関する調査研究、出版物の刊行</li></ul>
事業計画	<ul style="list-style-type: none"><li>○クラシック音楽分野における若手音楽家の人材育成に対する助成<ul style="list-style-type: none"><li>・海外における音楽研修に対する助成</li><li>・国内音楽学生に対する奨学援助</li></ul></li><li>○民俗芸能等地域の伝統文化の保存維持、後継者育成に対する助成<ul style="list-style-type: none"><li>・地域の民俗芸能(含、民俗行事、民俗音楽)の保存維持、後継者育成のための助成</li><li>・地域の民俗技術(含、伝統的製作技術、衣食住に関わる生活技術、伝統工芸)の保存維持、後継者育成のための助成</li></ul></li></ul>
事業成果	これまでの累計助成状況(平成30年11月現在) <ul style="list-style-type: none"><li>・音楽分野 507人 9億1,080万円</li><li>・伝統文化分野 1,180件 6億1,097万円</li></ul>
主な出捐企業	明治安田生命保険相互会社